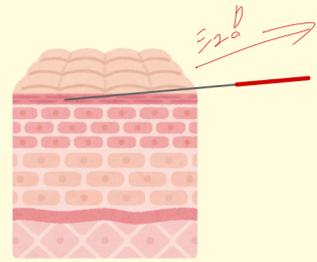
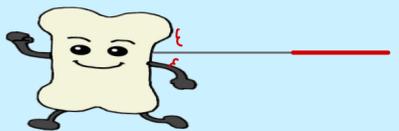


五刺：五臓に応ずる刺法【主に豪鍼を用いる】

五刺	対象(五体)	応ずる臓	目的	手法
関刺(かんし)	筋	肝	筋痺	関節部の筋に対し、深く刺して痛みをとる 
豹文刺(ひょうもんし)	血脈	心	経絡の血滞 (瘀血)	血脈に対し、浅くたくさん刺して血をにじませる (出血の様が豹模様) 
合谷刺(ごうこくし)	筋肉	脾	筋肉の痺	筋肉に対し、 <b>3本の鍼</b> を開いて斜めに刺す 
半刺(はんし)	皮膚	肺	皮膚表面の症状 (皮気)	皮膚に対し、極めて浅く刺し、すばやく抜く 
輸刺(ゆし)	骨	腎	骨痺	深く直刺し骨に至らせる 

かんぴょうごうはんゆ